

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		6/27-7/4	7/4-7/11	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.140	0.140
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.087	0.071
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.120	0.055
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	0.015	不検出
		セシウム137	0.100	0.170
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.048	0.040
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.065	0.049
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.091	0.070
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.041	0.072

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		6/27-7/4	7/4-7/11	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.086	0.045
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.038	0.018

検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説

第89回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(平成30年6月27日~平成30年7月11日)
市内10箇所の観測値で実施された大気浮遊じんに含まれる放射性セシウム137の平均濃度は、0.077mBq/m³と低い値でした。健康影響が予想される濃度に遠く及ばない値ですのでご安心下さい。日本国中、異常高温気象で乾燥状態が続いており土壌からの埃の飛散も多くなっていると思われます。健康のため、無駄な埃を体内に取り込まないように外出から帰った際には、うがいをする習慣をつけましょう。